



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Build The Future with Action and Vision

築け未来を行動力と先見の眼で

1996~97年度・国際ロータリーのテーマ/ルイス・ピセンテ・ジアイ会長

◎本日の例会

6月20日/第516回例会
18:00~20:00

□夜間例会/レディス・デー

卓話「歌は時代を語り続けた」

作詞家・作家 阿久 悠氏

◎先週報告

6月13日/第515回例会

□93~94年度社会奉仕委員会報告(田中元委員長)

当クラブでは、1994年2月26日に開催されましたチャリティーコンサートの収益金を中心にアイメイト3号の調達資金として150万をアイメイト協会に寄付致しました。この度協会より、「盲学校の先生、網島ミキさんをアイメイト3号使用者として予定していたが、結婚、妊娠ということで協会への入所が困難となったので、新しい人を選中です」という連絡がありました。

□出席委員会(後藤委員長)

3月、4月は出席率が良く94%でした。5月も91.44%と90%を超えていますので6月最後の1ヶ月も効率良く保つよう宜しくお願いします。尚96年7月~97年5月までの平均出席率は91.44%でした。

□慶事披露●お誕生日祝/金光圭一君(6月12日)

□出席報告●会員69名・出席50名・欠席19名(出席規定免除者1名)

ピジター(12名 敬称略・順不同)/松浦雄一郎(廣島)、岩尾 揆、内田和也(東京銀座)、山東昭子、森田寛子、北川雄史(東京恵比寿)、岡田眞臣(東京新橋)、伊尾 正(東京城西)、ファウベル、松方 清、尾河洋一、立石信義(東京南)

ゲスト(1名)、福島賢哉氏(宮本会員のゲスト)

【パストサービス会員】ロータリーMINI情報(柴本R情報委員長)

最近入会された新会員から「リタイア時期が早まる傾向にあるが、完全リタイアとなり職業分類を失ってしまった場合本人はロータリアンを続けたいが何か救済措置は講ぜられるのか」との質問を受けた。本人がシニアアクティブ会員の資格があれば職業分類は問題がないが、そうでない場合はその救済措置としてパストサービス会員の規定適用(定款第5条第6節)が受けられる。即ち理事会の決定によってパストサービス会員に選ばれば職業分類に関係なく会員を継続出来る。以上よりリタイア即退会と簡単に考えないようお願いしたい。



順不同・敬称略
6月13日/17件44,000円
本年度累計 2,461,888円
多額のご寄付を有難うございます。

横山秀明、新保國彦/お誕生祝いありがとうございました。梶内滋男、杉山好一郎、川鍋二郎、小杉修造/大日方さん、先日は大変お世話になりました。柴藤清三郎/7月1日より社名を㈱イセトーに変更します。河原勢自/次期SAA委員長の命令にさからいました。平井さん写真をありがとう。吉岡琢磨/本日は次年度SAA委員会にお集まり頂きありがとうございました。柴田陽三/ゴルフではお世話になりました。開発英基/休みをとって申し訳ありません。マウイでゴルフ三昧でした。相澤成憲/クラブ協議会欠席いたします。小杉眞史、保森 登、山下忠治、鍋島晴夫、牧野吉郎/小杉修造さん、初めてのニコニコご苦労さまです。(紙面の都合上コメントを一部省略させていただきます)

■ 本年度第6回・新年度第1回 クラブ協議会

とき/97年6月13日(金) 例会後13:14~15:00 ところ/東京全日空ホテルB1八雲の間 出席者/43名

テーマ「本年度各委員会活動報告と新年度各委員会活動計画」「10周年記念行事・千代田分区IMの終了報告」

I 本年度各委員会活動報告

1. 総括(河原会長)

本年度は、IMを初めとして創立10周年記念に際しての式典・各種事業・年史の編さん等にすべての会員が参加して頂きお陰さまでこの1年を間もなく無事に終わらせて頂くことができます。心より、会員の皆様のご協力に感謝するとともに、来年度もひきつづき当クラブが発展していくよう祈念致します。

2. 活動報告

(1)会計(加藤会計代理大村副会計)

一般会計では、収入について(予算)2776万円に対し(実績見込)2630万円、支出について(予算)2776万円に対し(実績見込)2740万円にいずれも予算を下廻った数字となった。これにより110万円のマイナスとなり、この分ニコニコ会計から振り替えさせて頂きます。ニコニコ会計は(予算)250万円(実績見込)260万円。また今年度、青少年交換留学生受入のための必要経費200万円のうち、1年分50万円を積立てた。ピジター会計は(予算)165万円(実

績見込)135万円

基金会計は入会金(予算)180万円(実績見込)150万円となり、更に10周年記念事業が(予算)400万円(実績)457万円となったため、基金残高は576万円が459万円と63万円の減となった。

(2)SAA委員会(大日方SAA)

①10周年記念行事および千代田分区IMの準備、運営に協力。
②例会時を「受付」「入口」「会場内」「例会運営」の4グループに分けて会場監督に当たるとともに、奇数月のみ着席割当てとし、且つ、すべての着席テーブルを禁煙とした。
③新会員は、1週目1番テーブル、2週目2番、3週目3番…と、各テーブルに着席して頂き、早期融和をはかり易くするよう配慮した。
今後も、SAA全員の協力体制の維持と、「秩序とホスピタリティ」という本年度テーマを継続して欲しい。

(3)職業奉仕委員会(平井委員長)

'96.4.4(木)地区へ「1.次年度職業奉仕計画の概要及び今後の方針」「2.過去の職業奉仕活動の事例について」のアンケートに対する回答書を提出。
'96.5.15(水)地区協議会「職業奉仕部会」に出席。
'96.12.13(金)ガバナー公式訪問、第3回クラブ協議会「創立の原点をみつめて—過去をふり返り、未来を築こう—職業奉仕を通して」のテーマで開催。
'97.4.26(土)~17(日)親睦委員会との共催の旅行会「陽春の信濃路:小布施の観光と長野オリンピック施設見学」を開催。

(4)社会奉仕委員会(渡部委員長)

10周年記念事業として、港区社会福祉協議会と共同で港区内のボランティア団体などに対する助成を、今後3年間を目途に行うことになった。
①10周年記念式典で本年度助成先7団体に助成金贈呈。
②7団体の一つ「若樹会」会長の卓話により会員への啓蒙をはかった。
③車椅子障害者30名の鎌倉散策を計画し、クラブから8名参加。
④その他、クラブ協議会での報告、「泉の家」への書類ファイル贈呈、日米少年少女水泳大会の支援等を行なった。

地域社会調査委員会/昨年度中の基礎調査を踏まえて、今年度の調査対象をボランティア活動に絞った。具体的には、以下の調査を実施。
①港区における公的機関の福祉活動とロータリーとの関係。
②港区社会福祉協議会/ボランティア・センターの制度面、機能面の調査研究。
③ボランティア活動全般とロータリーの奉仕活動との関係
④港区におけるボランティア活動の現状。
⑤当クラブが社会奉仕活動として採り上げるボランティア活動の可能性と限界。

環境保全委員会

①'97年1月24日例会にて警視庁生活安全部薬物対策課長による「薬物乱用の現状について」の卓話を実施。
②同6月6日に、港区立南山小学校で高学年を対象として、大蔵省印刷局発行の「マンガで見る環境白書」を寄贈・配布し、同時にアンケートを実施した。

(5)国際奉仕委員会(四分一委員長)

米山奨学会については例年どおりの普通寄付、米山功労者寄付を行なった。
上半期はIM、10周年で活動できなかったが、下半期はクラブ協議会でポリオプラスパートナー制度を紹介した。

ロータリー財団委員会/①'96年11月15日例会時に、R財団月間に因んで、足利東RC板橋敏雄会員による「ロータリー財団寄付金のマネーフローについて」の卓話を実施した。
②ポール・ハリス・フェロー(7名)およびベネファクター(2名)の財団寄付計画をいずれもクリアした。

青少年交換委員会/昨年3月派遣の塩屋未来さんは有意義な留学生生活を終えて本年3月無事帰国して、大きく成長した姿を例会で見せてくれた。また、昨年8月派遣の都築麻衣子さんも、元気に留学生生活を楽しんでいるという便りを寄せてきている。本年度は推薦該当者がなかったが、次年度に期待したい。

(6)クラブ奉仕委員会(保森委員長)

本年度は、年度初めにキーワードとして「向上奉仕」を掲げて、地域社会を中心とするクラブ活動を通じて社会に貢献し、且つクラブ会員が奉仕をすることによって自己を磨くことを主眼としてきた。上半期のIM、10周年記念事業を通じてロータリー精神が高揚し、結束がはかられたと思われ、下半期の出席率向上につながったと考えれば満足できる結果となった。

出席委員会/特に出席率の低い会員に出席、メーキャップを促した。

会員増強委員会/10名増強の計画に対し、5名の増強に終わりそうである。3名の退会者、田島会員の逝去により差し引き1名の増加となる。

プログラム委員会/今年度は千代田分区IM、創立10周年記念式典の2大イベントを抱えたなかでの活動であり、且つ上半期は新会員0のためイニシエーションスピーチも0となり苦しい状況となった。このため、予算をオーバーしてしまっただが、内容としてはバラエティに富んだジャンルの卓話者をお迎えすることができた。
一部、自社のPR、宗教的色彩を感じさせる卓話もあったが、この道一筋に人生を賭けている方々のロマンを聞くこともできた。ほぼ満足して頂けるプログラムが組めたと思っている。

職業分類委員会/分類表も整備され、特別な職業の方の入会希望がない限り追加・修正の必要もない。ただし、未充填の大分類が4分類あり、この分野での充填が望まれる。

会員選考委員会/理事会推薦受付の承認が得られた5名の候補者と面談した。

雑誌委員会/毎月「ロータリーの友」から適宜に選別した記事を例会で紹介し、関心を深めていただいた。

広報委員会/各委員会および10周年記念行事実行委員会との情報交換を密にして、各委員会の活動状況の把握に務め、一般に広報することを試みてきた。

クラブ会報委員会/千代田分区IM、クラブ創立10周年の2大イベントに加え、ポールハリス没後50年、会報500号(5月23日号)と特集号の企画が相次いだ。

ロータリー情報委員会/入会前、入会候補者に対するロータリーの基本ポイントの資料提供。入会后、新会員のカウンセラーの指名を実施。例会時に「ロータリーMINI情報」を発表し、会員の啓蒙に努めた。

ソングリーダー委員会/

①今月の歌の歌詞集を作成し、第2週に歌った。
②「It's a Small World」の3部合唱を編曲し、10周年記念式典、公式訪問時に合唱し好評であった。

(7)親睦活動委員会(青野委員長)

火曜会/12回開催、テーマ「今までの10年、これからの10年—語り合おうあの人と—」、平均出席者数19.5人
納涼会/7月27日(土)、駒形どぜう、花火観賞もかねての納涼会、参加会員34名、家族16名
新会員歓迎会・食べ歩きの会等/'96年10月12日(食べ歩き)、香味屋、会員22名、家族6名
'97年2月18日(新会員・食べ歩き)ベルフランス、会員27名、家族9名
'97年6月27日(新会員、打ち上げ)ホテル日航東京
親睦旅行(職業奉仕委員会共催)/'97年4月26日(土)~27日(日)長野オリンピックと、長野の文化、長野の花を訪ねて、会員19名、家族9名
親睦ゴルフ会(ゴルフ同好会と共催)/
'96年10月29日相模原ゴルフクラブ、会員15名、家族2名
'97年3月6日(千代田分区予選会)霞ヶ関C.C.、会員6名
'97年5月25日URAKUG.C御殿場、会員13名家族3名
誕生日祝い/会長直筆のメッセージをつけて贈った。

II. 10周年記念行事終了報告(村川実行委員長)

10周年記念行事については、予算を多少オーバーしたが、内容についてはほぼ満足できるものであり特に「記念誌」については長く保存できる良いものができたと自負している。

III. 千代田分区IM終了報告(沖実行委員長)

田辺会員に先頭になって頂き如何に無事にすませるかに努力した。クラブ会員が、一致協力してIMを乗り切ることができたことを感謝します。

新年度各委員会活動計画は、10月に「活動計画書」が発行されるので割愛させていただきます。(クラブ会報委員会)

◎次週予告

6月27日/第517回例会

◎卓話予定「退任のご挨拶」

会長 河原 勢 自 君
副会長 保 森 登 君
幹 事 荒 木 昭 文 君

東京新南ロータリークラブ

会長:河原勢自 副会長:保森 登 幹事:荒木昭文
〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

<会報委員>

山下 忠治、大村 富俊、伊部 和夫、
大日方 真、柴藤清三郎、相澤 成憲、
島田 昌雄、村山 公士、川鍋 二郎、
関 征春、宮本 正祥、岩瀬 秀郎
(編集担当順)